

## 総合科目（1年次生～5年次生）

(1) 学内・学外早期体験実習	(1年) . . . . .	12
(2) 学内・学外早期体験実習	(1年) . . . . .	14
(3) 歯学展望	(1年) . . . . .	16
(4) コミュニティー教育・実習	(3年) . . . . .	19
(5) 歯科東洋医学	(3年) . . . . .	21
(6) <b>Scientific and Practical English</b>	(3年) . . . . .	23
(7) 歯科医師のコンピテンシー I	(1年) . . . . .	25
(8) 歯科医師のコンピテンシー II	(2年) . . . . .	27
(9) 歯科医師のコンピテンシー III	(3年) . . . . .	29
(10) 歯科医師のコンピテンシー IV	(4年) . . . . .	31
(11) 歯科医師のコンピテンシー V	(5年) . . . . .	33

年度 2018 学期 前期 1Q	曜日・校時 火・I～II(一部III～IV)	必修選択 必修	単位数 (5)
科目番号	25064401		
科目ナンバリング・コード	DNGD11011098		
授業科目名/(英語名)	学内・学外早期体験実習/(Early Exposure)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・実習形式	教室 第2講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類	総合科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院 8 階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバス科目等)	齋藤俊行、吉田教明、藤原 卓、吉村篤利、澤瀬 隆、村田比呂司、梅田正博、朝比奈泉、中村 卓、鮎瀬卓郎、角 忠輝、久保至誠		
授業の概要及び位置づけ  歯学部臨床分野の様子を早期に見学し、今後の講義・実習への学習意欲を高める。			
授業到達目標 医療職として必要な態度を涵養する 大学病院の歯科臨床(歯科診療部門)の実情を理解する。  関連コアカリ A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) A-9-1) 生涯学習への準備			
授業方法(学習指導法)  臨床歯学分野を見学を中心にローテートする。			
授業内容  1 回目 オリエンテーション、総合歯科臨床教育(口腔検診) 2 回目 口腔保健学、歯周歯内治療学 3 回目 頭頸部放射線学 4 回目 歯科矯正学、小児歯科学 5 回目 口腔腫瘍治療学、顎口腔再生外科学 6 回目 口腔インプラント学、歯科補綴学、歯科補綴学(修復学) 7 回目 歯科麻酔学 8 回目 まとめ			
キーワード	歯科部門, 早期体験		
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	レポートにより評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		
受講要件(履修条件)	医療関係者としての態度を重視するので、原則欠席、遅刻は認めない。		
備考(学生へのメッセージ)	第1回目は、説明と患者体験実習として6年生による口腔検診を受ける。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	10	火	I～II	オリエンテーション, 総合歯科臨床教育(口腔検診)	各教員	第2講義室
2回	4	17	火	I～II	I 限: 口腔保健学 II 限: 歯周歯内治療学	各教員	第2講義室
3回	4	24	火	III～IV	III 限: 未定 IV 限: 頭頸部放射線学	各教員	第2講義室
4回	5	8	火	I～II	I 限: 歯科矯正学 II 限: 小児歯科学	各教員	第2講義室
5回	5	15	火	I～II	I 限: 口腔腫瘍治療学 II 限: 顎口腔再生外科学	各教員	第2講義室
6回	5	22	火	I～II	I・II 限 口腔インプラント学、歯科補綴学、歯科補綴学(修復学) 合同	各教員	第2講義室
7回	5	29	火	I～II	I 限: 未定 II 限: 歯科麻酔学	各教員	第2講義室
8回	6	5	火	I～II	まとめ		第2講義室

年度 2018 学期 後期	曜日・校時 火・I～IV	必修選択 必修	単位数 (5)
科目番号	25064401		
科目ナンバリング・コード	DNGD11011098		
授業科目名/(英語名)	学内・学外早期体験実習/(Early Exposure)		
対象年次 1年次	講義形態	講義・実習形式	教室 第1講義室
対象学生(クラス等)	科目分類	総合科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院8階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内7690)/ 学生12～13名に1名の教員をチューターとして配属しているため、実習期間中は連絡を密にとること。			
担当教員(オムニバス科目等)	木村泰男 他 歯学部教員, 大学病院教職員 田中晃伸(非常勤講師)		
授業の概要及び位置づけ 専門的知識の乏しい1年次に地域歯科医療の最前線である開業歯科医院および病院歯科等へ出向き、先入観のない視点から歯科医療を見つめ、今後の専門教育への動機付けとする。 また歯科と連携を図らなければならない多職種(看護師、栄養士、作業療法士など)の業務を体験、理解する。			
授業到達目標 社会的に歯科医師に求められているものを議論できる 各自の将来の歯科医師像を想像することができる 患者中心の多職種連携を体感する。 医療職として必要な態度を涵養する <b>主な対応コアカリ</b> A-1-2) 患者中心の視点, A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権, A-4-1) コミュニケーション, A-4-2) 患者と歯科医師の関係 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制について説明できる。③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。			
授業方法(学習指導法) 受け入れ歯科医院へ学生が出向き、指定の時間を診療室での見学を行い、診療設備、歯科医師-患者-スタッフ間でのコミュニケーションの重要性を観察する。また、長崎市の歯科医療の実態や歯科以外のコメディカル・コデンタルの業務を見聞する。			
授業内容 1回目 オリエンテーション1 2回目 オリエンテーション2 3回目 オリエンテーション3 4回目 学外実習1 5回目 学外実習2 6回目 多職種による講義1 7回目 グループ討論と発表会 8回目 学外実習3 9回目 学外実習4 10回目 学外実習5 11回目 グループ討論と発表会 12回目 多職種による講義2 13回目 未定 14回目 本実習に関する感想を全員が発表する。 15回目 まとめ			
キーワード	臨床現場、多職種連携、歯科医師像		
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	事前・事後レポート、最後の発表会も内容及び最終報告レポートを加味して評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		
受講要件(履修条件)	医療関係者としての態度を重視するので、原則欠席、遅刻は認めない。 <b>特に1回目のオリエンテーションを受けてない学生は学外実習には参加させない。</b>		
備考(学生へのメッセージ)	学研災に必ず加入すること。 長崎県歯科医師会や大学病院看護部等の全面的な後援のもとに実施可能となっているため、配属先の歯科医院および病院に失礼のないように十分注意する。(挨拶、態度、時間厳守)		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	火	I～IV	オリエンテーション1	教務委員長、 木村	第1講義室
2回	10	9	火	I～IV	オリエンテーション2	木村、 非常勤講師	第1講義室
3回	10	16	火	I～IV	オリエンテーション3	木村、 非常勤講師、 各チューター	第1講義室
4回	10	23	火	I～IV	学外実習1	木村	各実習先
5回	10	30	火	I～IV	学外実習2	木村	各実習先
6回	11	6	火	I～IV	未定(多職種による講義)	未定	第1講義室
7回	11	13	火	I～IV	グループ討論と発表会	木村	第1講義室
8回	11	20	火	I～IV	学外実習3	木村	各実習先
9回	11	27	火	I～IV	学外実習4	木村	各実習先
10回	12	4	火	I～IV	学外実習5	木村	各実習先
11回	12	11	火	I～IV	グループ討論と発表会	木村	第1講義室
12回	12	18	火	I～IV	未定(多職種による講義)	未定	第1講義室
13回	12	25	火	I～IV	未定	未定	第1講義室
14回	1	8	火	I～IV	本実習に関する感想を全員が発表する。	木村、 各チューター	第1講義室
15回	1	15	火	I～IV	まとめ	教務委員長	第1講義室

年度 2018 学期 通年	曜日・校時 前期:月・I 後期:月・II (一部火)	必修選択 必修	単位数 2
科目番号	25064403		
科目ナンバリング・コード	DNGD11021098		
授業科目名/(英語名)	歯学展望/(Dental Outlook)		
対象年次 1年次	講義形態 講義形式	教室 第2講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスマー			
村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院 8階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバス科目等)	真鍋義孝、小守壽文、中村渉、根本孝幸、藤田修一、内藤真理子、筑波隆幸、白石孝信、伊藤公成、山下裕美、齋藤俊行、吉田教明、藤原卓、吉村篤利、澤瀬隆、村田比呂司、石田優、朝比奈泉、角 美佐、鮎瀬卓郎、久保至誠、久松徳子、鮎瀬てるみ、小山善哉、河野哲也(学内非常勤講師)、若菜啓孝(学内非常勤講師)、永田康浩(学内非常勤講師)、夏目長門(学外非常勤講師)		
授業の概要及び位置づけ			
歯科医師になるため、これから6年間学ぶ歯学教育・研究の専門的内容を分かりやすく説明し、歯学生としての自覚を養う。			
授業到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯学教育・研究の基本的な概要を理解する。</li> <li>・基礎及び臨床科目の基本的な内容を説明できる。</li> </ul>			
授業方法(学習指導法)			
歯学教育・研究・臨床に関する主要テーマについて、主に歯学部の教員によるオムニバス方式の講義を行う。			
授業内容			
(前期)		(後期)	
1回目	総合科目「歯学展望」について	1回目	予防歯科と全身の健康
2回目	タバコ学事始め	2回目	矯正歯科の未来
3回目	学生ポートフォリオ①	3回目	歯周疾患と治療
4回目	学生ポートフォリオ②	4回目	う蝕治療の変遷と今後の展開
5回目	骨格形成	5回目	人工物で作る歯
6回目	生体リズムの生理学	6回目	歯科補綴学と健康長寿
7回目	歯周病原細菌の生化学	7回目	再生歯科医療
8回目	病気の形態	8回目	骨の「きず」の治療
9回目	口腔細菌の意義	9回目	顎顔面領域の画像診断
10回目	解剖学と人類学	10回目	海外医療援助
11回目	歯科薬理	11回目	歯科医療と全身管理
12回目	生体材料と歯科材料	12回目	摂食嚥下リハビリテーション
13回目	「がん」をどのように研究するか	13回目	地域連携医療の中で歯科に求められること
14回目	歯科法医学の世界	14回目	障害者の歯科診療
15回目	小児の歯科診療	15回目	福島県相双地域における医療協力活動
キーワード			
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	前期・後期の定期試験期間中に求める講義内容に関するレポートで評価する。 また、授業への貢献度も評価の対象とする。		
受講要件(履修条件)	全体を通じて総授業数の2/3以上の出席が求められる。		
備考(学生へのメッセージ)	歯学部に入學した、将来歯科医師になる歯学生としての自覚を養ってほしい。 卒業後、国民に有益・有用な歯科医師となるよう入学時から真摯な態度で学習してほしい。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	9	月	I	総合科目「歯学展望」について	澤瀬 隆	第2講義室
2回	4	16	月	I	タバコ学事始め	河野哲也 (学内非常勤講師)	第2講義室
3回	4	23	月	I	学生ポートフォリオ① 概要説明	若菜啓孝 (学内非常勤講師)	第2講義室
4回	5	7	月	I	学生ポートフォリオ② 操作説明及び入力	教務委員長	第2講義室
5回	5	14	月	I	骨格形成 骨格形成の分子機構を骨芽細胞と軟骨細胞の分化機構より概説する。	小守壽文	第2講義室
6回	5	21	月	I	生体リズムの生理学 生体リズムを制御する体内時計の神経回路と生理学的意義について概説する。	中村渉	第2講義室
7回	5	28	月	I	歯周病原細菌の生存戦略 ①タバコと発がん、②歯周病原細菌の生存戦略を概説する。	根本孝幸	第2講義室
8回	6	4	月	I	病気の形態 がんはどのように診断されるか	藤田修一	第2講義室
9回	6	11	月	I	口腔細菌の意義 口腔常在菌の役割、口腔細菌と疾患	内藤真理子	第2講義室
10回	6	18	月	I	解剖学と人類学 人体解剖学と形質人類学	真鍋義孝	第2講義室
11回	6	25	月	I	歯科薬理 薬理学とはどのような学問か	筑波隆幸	第2講義室
12回	7	2	月	I	生体材料と歯科材料 歯科医療に果たす歯科材料の役割	渡邊郁哉	第2講義室
13回	7	9	月	I	「がん」をどのように研究するか 「がん遺伝子」「がん抑制遺伝子」の機能解析について	伊藤公成	第2講義室
14回	7	23	月	I	歯科法医学の世界	山下裕美	第2講義室
15回	7	24	火	I	小児の歯科診療 小児と成人の違い、小児歯科とは	藤原 卓	講義室6A

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	1	月	II	予防歯科と全身の健康 全身の健康につながる歯科保健、う蝕と歯周病の予防	齋藤俊行	第2講義室
2回	10	15	月	II	矯正歯科の未来 美と機能のトータルなハーモニーを生み出す矯正治療	吉田教明	第2講義室
3回	10	22	月	II	歯周疾患と治療 歯周疾患とは？現状と未来	吉村篤利	第2講義室
4回	10	29	月	II	う蝕治療の変遷と今後の展開 早期発見・早期治療から早期管理へ	久保至誠	第2講義室
5回	11	5	月	II	人工物で作る歯 人工物による歯質・歯牙欠損の修復・回復	澤瀬 隆	第2講義室
6回	11	12	月	II	歯科補綴学と健康長寿 有床義歯の役割	村田比呂司	第2講義室
7回	11	19	月	II	再生歯科医療 歯科における再生医療の現状と未来	朝比奈泉	第2講義室
8回	11	26	月	II	骨の「きず」の治り 様々な病気と治療、骨の治療	石田 優	第2講義室
9回	12	3	月	II	顎顔面領域の画像診断	角 美佐	第2講義室
10回	12	10	月	II	海外医療援助～ベトナム・ラオス・モンゴルなど～	夏日長門 (学外非常勤 講師)	第2講義室
11回	12	17	月	II	歯科医療と全身管理 高齢化社会と全身疾患、歯科治療	鮎瀬卓郎	第2講義室
12回	1	7	月	II	摂食嚥下リハビリテーション	久松徳子	第2講義室
13回	1	21	月	II	地域連携医療の中で歯科に求められること	永田康浩 (学内非常勤 講師)	第2講義室
14回	1	22	火	II	障害者の歯科診療	鮎瀬てるみ	第2講義室
15回	1	28	月	II	福島県相双地域における医療協力活動	小山善哉	第2講義室



年度 2018 学期 前期	曜日・校時 金・Ⅱ(またはⅡ～Ⅲ)	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064408		
科目ナンバリング・コード	DNGD11041098		
授業科目名/(英語名)	コミュニティ教育・実習/(Community education・practice)		
対象年次 3年次	講義形態 講義形式	教室 第1講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村田比呂司(教務委員長)/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院 8 階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバス科目等)	非常勤講師(岡 幸江、長野真基子、山口和浩、片山健太、片山薫子)		
授業の概要及び位置づけ			
<p>本授業が提案するのは現代において分断された仕事と価値意識を「つなぐ」知であり、それによる「全体的視野の獲得」です。それを通して、医師中心のしごと観を患者や社会にとって意味あるしごと観へ転換していく一助となればと願っています。</p>			
授業到達目標			
<p>「コミュニティ」をキーワードとする本講義が目的とするのは、こうした「相対化のための知」に出会うこと、あるいはそれを自分なりの文脈において獲得することですが、そのためにも本授業では、「語りあうこと」それを通して、それぞれがもつ考えや背景の「違い」に気付くこと、を大事にしていきます。それが将来、歯科医師・歯科研究者あるいは一市民として、コミュニティで生きていくことの力になるとともに、「知」との新たな出会いも可能にすると考えています。</p>			
授業方法(学習指導法)			
<p>本講義では、みなさん自身の日々の生活のなかから「暮らしのまなざし」や暮らしをなりたせる「関わりまなざし」をほりおこしていくことからスタートします。そのうえで、実社会において困難をかかえる人・困難をかかえる地域とむきあうとくみ、こうした「実践」の底に流れる「もうひとつの知」について提示していきます。授業のなかでは、そうした提示をどう受け止め合うのかをお互いに交し合う工夫にも、可能なかぎりできとくんでいきます。</p>			
授業内容			
<p>第1回目 5月18日 2時限目:オリエンテーション 一人・地域に向き合うということ(担当:岡 幸江)</p> <p>第2回目 5月18日 3時限目:暮らしと関わりへのまなざしをめぐって(担当:岡)</p> <p>第3回目 5月25日 2時限目:地域に新たな共同をひらく(担当:岡)</p> <p>第4回目 5月25日 3時限目:対人援助とコミュニケーション(担当:長野)</p> <p>第6回目 6月 1日 2時限目:「かっちえて」という場と子どもたち(担当:片山健太、薫子(自然と暮らしの学校「手つなぐ」))</p> <p>第5回目 6月 8日 2時限目:生と死にむきあう (担当:山口和浩(NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表))</p> <p>第7回目 6月 22日 2時限目:「手つなぐ」と私たちの働き方(担当:片山健太、薫子)</p> <p>第8回目 6月 22日 3時限目:今期のまとめ 一個々の暮らしとしごとを「つなぐ」知をめざして(担当:岡、片山健太、薫子)</p>			
キーワード	実践における「もうひとつの知」		
教科書・教材・参考書	教科書 なし		
成績評価の方法・基準等	出席、レポートで評価する。(レポートの評価は教務委員長が行う。)		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	18	金	Ⅱ	オリエンテーション 一人・地域に向き合うということ	岡	第1講義室
2回	5	18	金	Ⅲ	暮らしと関わりへのまなざしをめぐって	岡	第1講義室
3回	5	25	金	Ⅱ	地域に新たな共同をひらく	岡	第1講義室
4回	5	25	金	Ⅲ	対人援助とコミュニケーション	長野	第1講義室
5回	6	1	金	Ⅱ	「かっちえて」という場と子どもたち	片山(健) 片山(薫)	第1講義室
6回	6	8	金	Ⅱ	生と死に向き合う	山口	第1講義室
7回	6	22	金	Ⅱ	「手つなぐ」と私たちの新たな働き方	片山(健) 片山(薫)	第1講義室
8回	6	22	金	Ⅲ	今期のまとめ 一個々の暮らしとしごとを「つなぐ」知をめざして	岡、片山夫 妻	第1講義室

年度 2018 学期 前期	曜日・校時 木・II - V (時間割を参照)	必修選択 必修	単位数 1
科目番号	25064409		
科目ナンバリング・コード	DNMC11051941		
授業科目名/(英語名)	歯科東洋医学/(Oriental Dental Medicine)		
対象年次 3年次	講義形態 講義形式	教室 第1講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと			
担当教員(オムニバス科目等)	前川靖裕(非常勤講師)、戸田一雄(非常勤講師)、田頭澄人(非常勤講師)、筑波隆幸、池田裕明(腫瘍医学)、亀山敦史(非常勤講師)、坂井詠子、金子篤(非常勤講師)		
授業の概要及び位置づけ  東洋医学では、人は大自然(大宇宙)のなかの一つで、自然界のすべてのものと、お互いに関連し、影響しあっているとみなしている。西洋医学では、組織、器官はそれぞれ独立して異なるものとするが、東洋医学では、異なった機能を持ちながらも全体として有機的につながりをもった共有体とされている。その根底となる思想が陰陽論と五行論である。このような東洋医学の理論的背景を認識しつつ実際の東洋医学的治療法の主な方法を、座学および体験を通して学習する。			
授業到達目標(参照:平成28年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム C-6 生体と薬物)  GIO: 患者満足度の高い良質な歯科医療を提供するために、東洋医学の概念を西洋医学に対比して理解し、統合医療を実践するために必要な基本的知識および態度を修得する。 SBOs: 1. 東洋医学体系の基礎理論と診断法を説明できる。 2. 各種東洋医学的治療法(鍼灸・漢方)のメカニズムを説明できる。 3. エイジングや免疫に及ぼす東洋医学的治療法の役割を説明できる。 4. 経絡および歯科領域で重要な経穴の部位を列挙し、説明できる。 5. 漢方の歴史的背景に関心を持つ。 6. 各種代替医療を列挙し、その概要を説明できる。			
授業方法(学習指導法)  輪講形式。スライド、ビデオ等を用いて講義する。必要に応じて実地学習を取り入れる。プリント等は必要な時に配布する。経路、経穴名、それらの機能等の記憶項目に関しては小テスト等を行い、学習効果を向上させる。			
授業内容  1回目 統合医療学総論 2回目 日本人は何故冷え性になったのか? 3回目 耳鍼法、アロマセラピー 4回目 地域医療と漢方(仮題) 5回目 鍼鎮痛のメカニズム、歯科鍼灸 6回目 鍼灸の実際 7回目 抗加齢科学 8回目 がん免疫治療の最前線 9回目 先人から学ぶ漢方の知恵(アクティブラーニング) 10回目 先人から学ぶ漢方の知恵(アクティブラーニング) 11回目 先人から学ぶ漢方の知恵(発表) 12回目 補完代替医学 13回目 漢方薬理 14回目 漢方最前線 15回目 試験			
キーワード	東洋医学、伝統医学、代替医学、鍼、灸、漢方、食養、アロマセラピー、EBM		
教科書・教材・参考書	参考書:入門歯科東洋医学、口腔保健協会、日本歯科東洋医学会編 中国医学はいかにつくられたか 岩波新書 山田慶児著 世界伝統医学大全 平凡社 津谷喜一郎著 鍼のエビデンス 医道の日本社 津谷喜一郎著 東洋医学を学ぶ人のために、医学書院、山村秀夫他 著 臨床経穴図 医道の日本社 木下晴都著		
成績評価の方法・基準等	出席率、講義内の小テスト、アクティブラーニングへの参加態度、および筆記試験により評価する。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	東洋医学関係の一般書に目を通しておくことが望ましい。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	9	水	III	統合医療学総論 ※5/9のみ水曜日開催なので注意	角	第1講義室
2回	5	9	水	IV	日本人は何故冷え性になったのか？ ※5/9のみ水曜日開催なので注意	前川	第1講義室
3回	5	17	木	II	耳鍼法、アロマセラピー	戸田	第1講義室
4回	5	17	木	III	地域医療と漢方(仮題)	角	第1講義室
5回	5	31	木	II	鍼鎮痛のメカニズム、歯科鍼灸	戸田	第1講義室
6回	5	31	木	III	鍼灸の実際	田頭	第1講義室
7回	6	7	木	III	抗加齢科学	筑波	第1講義室
8回	6	7	木	IV	がん免疫治療の最前線	池田	第1講義室
9回	6	14	木	III	先人から学ぶ漢方の知恵(アクティブラーニング)	角	第1講義室
10回	6	14	木	IV	先人から学ぶ漢方の知恵(アクティブラーニング)	角	第1講義室
11回	6	21	木	II	先人から学ぶ漢方の知恵(発表)	角	第1講義室
12回	6	21	木	III	補完代替医学	亀山	第1講義室
13回	6	28	木	IV	漢方薬理	坂井	第1講義室
14回	7	5	木	III	漢方最前線	金子	第1講義室
15回	7	5	木	IV	試験	角	第1講義室

年度 2018 学期 前期	曜日・校時 木・Ⅲ ～Ⅴ	必修選択 必修	単位数 1
科目番号	25064417		
科目ナンバリング・コード	DNGD11031098		
授業科目名/(英語名)	Scientific and Practical English		
対象年次 3年次	講義形態 講義形式	教室 第1講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp /生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656)/授業後に当日の担当者に質問すること。			
担当教員(オムニバス科目等)	David Atwood (非常勤講師)		
授業の概要及び位置づけ  本科目で学ぶのは、英語のリテラシーである。専門知識を学習するうえで不可欠な基礎的語学力を自己点検する。その上で、基本的な英語のリテラシーを学ぶ。			
授業到達目標  国際化に対応した歯科医師養成を目指す。			
授業方法(学習指導法)  3年次に再受験が必須の TOEIC 試験について、試験内容の概要説明や試験対策(Listening and Reading)を行う。			
授業内容  1 回目 TOEIC試験内容の概要 2 回目 TOEIC対策① 3 回目 TOEIC対策② 4 回目 TOEIC対策③ 5 回目 TOEIC対策④ 6 回目 TOEIC対策⑤ 7 回目 TOEIC対策⑥ 8 回目 TOEIC対策⑦ 9 回目 TOEIC対策⑧ 10 回目 TOEIC対策⑨ 11 回目 TOEIC対策⑩ 12 回目 TOEIC対策⑪ 13 回目 TOEIC対策⑫ 14 回目 TOEIC対策⑬ 15 回目 TOEIC対策⑭(アンケートなど)			
キーワード	実践英語		
教科書・教材・参考書	TOEIC 新公式問題集3, 4, 5, 6		
成績評価の方法・基準等	TOIEC本試験にて評価する。		
受講要件(履修条件)	2/3 以上の出席を受験資格とする。		
備考(学生へのメッセージ)	TOEIC 対策は Web Class と併用したハイブリッド型クラスとする。各自課題など期限までに On-line で提出を済ませること。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
2回	4	12	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
3回	4	19	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
4回	4	26	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
5回	4	26	木	Ⅳ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
6回	5	17	木	Ⅳ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
7回	5	24	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
8回	5	31	木	Ⅳ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
9回	6	7	木	Ⅴ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
10回	6	14	木	Ⅴ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
11回	6	21	木	Ⅳ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
12回	6	28	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
13回	7	5	木	Ⅴ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
14回	7	12	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室
15回	7	19	木	Ⅲ	TOEIC 練習問題	David Atwood	第1講義室

年度 2018 学期 前期 2Q	曜日・校時 1 年次/火・I～II	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064418		
科目ナンバリング・コード	DNGD11071098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシー I / (Competence for Dentist I)		
対象年次 1 年次	講義形態 講義形式	教室 第 2 講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)	角 忠輝, 藤原 卓, 平田創一郎(東京歯科大学)		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で講義、実習を積み重ねて行く。			
授業到達目標 1 プロフェッショナリズム 人の命と生活に深く関わり健康を守るという歯科医師の職責を十分に自覚し、患者中心の歯科医療を実践しながら、歯科医師としての道(みち)を極めていく。 2 医学知識と問題対応能力 発展し続ける歯科医学の中で必要な知識を身につけ、根拠に基づいた医療(EBM)を基盤に、経験も踏まえながら、幅広い症候・病態・疾患に対応する。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
A-1-1) 医の倫理と生命倫理 1 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 2 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等を概説できる。 3 臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を説明できる。  A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 1 歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 2 患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 3 医療サービスの特殊性(情報の非対称性・医療の不確実性)や治療の限界を説明できる 4 歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、行政処分)を説明できる。 5 患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。  A-2-2) 学修の在り方 1 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 2 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 3 実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。			
キーワード	倫理, プロフェッショナリズム, 歯科医師		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	12	火	I	コンピテンシーとは, 歯科医学教育とは	藤原	第2講義室
2回	6	12	火	II	学修のあり方 入門 (基本的態度, 実習心得など)	藤原	第2講義室
3回	6	19	火	I	歯科医師としての責務と裁量 (プロフェッショナリズム)	角	第2講義室
4回	6	19	火	II	歯科医師としての責務と裁量 (プロフェッショナリズム)	角	第2講義室
5回	6	26	火	I	アンプロフェッショナルとは	藤原	第2講義室
6回	6	26	火	II	Professionとは	藤原	第2講義室
7回	7	3	火	I	医と生命倫理	平田	第2講義室
8回	7	3	火	II	医と生命倫理	平田	第2講義室



年度 2018 学期 前期 1Q	曜日・校時 2 年次/木・ I, II	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064419		
科目ナンバリング・コード	DNGD11081098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシー II / ( Competence for Dentist II)		
対象年次 2 年次	講義形態 講義形式	教室 第 2 講義室	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内 7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)	藤原 卓		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			
授業到達目標 A-1 プロフェッショナリズム A-6 医療の質と安全管理 患者および医療者にとって、良質で安全な医療を提供する。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
A-1-2) 患者中心の視点 1 患者の権利を説明できる。 2 患者の自己決定権を説明できる。 3 患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 4 インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。  A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 2 患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 3 医療サービスの特殊性(情報の非対称性・医療の不確実性)や治療の限界を説明できる。 4 歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、行政処分)を説明できる。  A-6-1) 安全性の確保 1 医療上の事故等の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー等)を説明できる。 2 医療上の事故等に対する防止策を説明できる。 3 医療現場における報告・連絡・相談および診療録記載の重要性について説明できる。 4 医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。 5 医療機関に求められる医療安全管理体制を概説できる。 8 歯科医療における事故の具体例を列挙できる。			
キーワード	インフォームド・コンセント, 医療安全, 医療事故		
教科書・教材・参考書	WHO Multi-professional Patient Safety Curriculum Guide <a href="http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/44641/3/9789241501958_jpn.pdf?ua=1://&amp;ua=1">http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/44641/3/9789241501958_jpn.pdf?ua=1://&amp;ua=1</a>		
成績評価の方法・基準 等	課題の提出, レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセー ジ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	木	I	医療安全概論, 課題提示	藤原	第2講義室
2回	4	5	木	II	Topic1 What is Patient Safety?	藤原	第2講義室
3回	4	12	木	I	自習(作業)	藤原	第2講義室
4回	4	12	木	II		藤原	第2講義室
5回	4	19	木	I	Topic2 Why applying human factors ins important for patient safety	藤原	第2講義室
6回	4	19	木	II	Topic3 Systems and the effect of complexity on patient care	藤原	第2講義室
7回	4	26	木	I	Topic4 Being an effective team player	藤原	第2講義室
8回	4	26	木	II	Topic5 Learning from errors to prevent harm	藤原	第2講義室

年度 2018 学期 前期 2Q	曜日・校時 3 年次/水・I	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064420		
科目ナンバリング・コード	DNGD11091098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシーⅢ/( Competence for Dentist III )		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)	未定		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			
授業到達目標 A-2 医学知識と問題対応能力 歯科医学・歯科医療に関連する情報を重要性と必要性にしたがって客観的・批判的に統合整理する基本的能力(知識、技能、態度・行動)を身につける。 A-6 医療の質と安全の管理 患者および医療者にとって、良質で安全な医療を提供する。 A-8 科学的探究 医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解し、批判的思考も身につけながら、学術・研究活動に関与する。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
学修目標: A-2-2) 学習の在り方 1 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 2 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 3 実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。  A-6-1) 安全性の確保 6 医療関連感染の原因と対策を概説できる 7 薬剤耐性に配慮した適切な抗菌薬使用ができる (ARM, AMS)。 8 歯科医療における事故の具体例を列挙できる。  A-6-3) 医療従事者の健康と安全 1 医療従事者の健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる 2 標準予防策を説明できる。 3 感染経路別予防策を説明できる。 4 針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。  A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) 1 生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 2 臨床上の疑問(Clinical Question <CQ>)を定式化できる。 3 患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。			
キーワード	学術論文, EMB, 院内感染, スタンダードプレコーション, AMR, AMS		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	5/23 は授業がないので注意すること		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	4	水	I	科学論文について, 課題提示	藤原	講義室6A
2回	4	11	水	I	院内感染対策1	藤原	講義室6A
3回	4	18	水	I	院内感染対策2	藤原	講義室6A
4回	4	25	水	I	院内感染対策3	藤原	講義室6A
5回	5	2	水	I	院内感染対策4	藤原	講義室6A
6回	5	16	水	I	Topic9 Infection prevention and control	藤原	講義室6A
7回	5	30	水	I	まとめ	藤原	講義室6A

年度 2018 学期 前期 1Q	曜日・校時 4 年次/木・I	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064421		
科目ナンバリング・コード	DNGD11101098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシーIV/( Competence for Dentist IV)		
対象年次 4 年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 6A
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)	住田吉慶 (硬組織疾患基盤研究センター)		
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			
授業到達目標 A-1-1) 医の倫理と生命倫理 医療、歯科医療および医学・歯学研究における倫理を遵守するために、その重要性を理解し、医療倫理に関する知識を身につける。(研究倫理を中心に)			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
学修目標:  1 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 2 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等)を概説できる。 3 臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を説明できる。 4 医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 5 情報倫理に関わる問題を説明できる。 6 研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。			
キーワード	研究倫理, 情報倫理		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	7	木	I	医療倫理 I (医の倫理・生命倫理総論) <ul style="list-style-type: none"> <li>・医と生命の倫理の原則を概説できる。</li> <li>・患者の権利、国際的な医療倫理に関する宣言を説明できる。</li> <li>・歯科医師の責務を説明できる。</li> </ul> 臨床研究 I (臨床研究総論) <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学の発展と臨床研究の関連性について説明できる。</li> <li>・臨床研究倫理に関する歴史上の重要事項を概説できる。</li> </ul>	住田	講義室6A
2回	6	14	木	I	臨床研究 II (研究倫理総論) <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究に関する歴史上の重要事項から生じてきた倫理的な諸問題を解決するための研究倫理・生命倫理について説明できる。</li> <li>・ヒト医学研究の倫理指針について説明できる。</li> </ul>	住田	講義室6A
3回	6	21	木	I	臨床研究 III (臨床研究の実際) <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研究、臨床研究、臨床試験、治験を説明できる。</li> <li>・医薬品・医療機器開発の流れが説明できる。</li> <li>・研究デザインを概説できる。</li> </ul>	住田	講義室6A
4回	6	28	木	I	臨床研究実習 I (論文査読から企画までの流れ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床論文の読み方を理解する(デザイン・解析項目・手法など)。</li> <li>・臨床研究のアイデアから企画までの流れを説明できる。</li> </ul>	住田	講義室6A
5回	7	5	木	I	臨床研究実習 II (プロトコル作成の実際) <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究プロトコルの作成を体験する。</li> <li>・研究計画書に記載すべき事項に関する細則、対象、検討項目の設定などが説明できる</li> </ul>	住田	講義室6A
6回	7	12	木	I	臨床研究実習 III (説明同意書作成と被験者への説明の実際) <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究対象者への説明同意文書作成を体験する。</li> <li>・被験者への説明項目が説明できる。</li> </ul>	住田	講義室6A
7回	7	19	木	I	まとめ	住田	講義室6A

年度 2018 学期 後期 3Q	曜日・校時 5年次/火・V	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25064422		
科目ナンバリング・コード	DNGD11111098		
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシーV/( Competence for Dentist V)		
対象年次 5年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 6A
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤原 卓/takufuji@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学分野教授室/095-819-7672(内7672)/当日に各担当者へ直接尋ねること。			
担当教員(オムニバ ス科目等)			
授業の概要及び位置づけ 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で授業を積み重ねる			
授業到達目標 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 A-5 チーム医療の実践 A-7 社会における医療の実践 医療人として求められる社会的役割を担い、地域社会と国際社会に貢献する。 。			
授業方法(学習指導法) 講義, グループ討議, 実習(見学)など			
A-4-2) 患者と歯科医師の関係 1 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 2 患者に分かりやすい言葉で対話できる。 3 患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 4 医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明で 35 きる。 5 患者の要望(診察・転医・紹介)への対処の仕方を説明できる。 6 患者のプライバシーに配慮できる。 7 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。 A-7-1) 地域医療への貢献 1 地域社会(へき地・離島を含む)における歯科医療の現状について概説できる。 2 医療計画(医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等)および地域医療構想について説明できる。 3 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健(地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間および多職種間(行政を含む)の連携の必要性について説明できる。 4 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 5 地域における、訪問歯科診療、救急医療および離島・へき地医療の体制を説明できる。 6 災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等)について説明できる。 A-7-2) 国際医療への貢献 1 患者の文化的背景を尊重し、異なる言語に対応することができる。 2 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができ る。 3 保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。 4 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 5 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みについて説明できる。			
キーワード	離島医療, 地域包括ケア, 災害医療, 臨床研究, EBM		
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	レポート, ポートフォリオ等を中心に, 必要に応じて筆記試験も行う		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	火	V	地域歯科医療概説①	未定	講義室6A
2回	10	9	火	V	地域歯科医療概説①	未定	講義室6A
3回	10	16	火	V	地域歯科医療概説①	未定	講義室6A
4回	10	23	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
5回	10	30	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
6回	11	6	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
7回	11	13	火	V	地域歯科医療概説②（長崎県歯科医師会）	未定	講義室6A
8回	11	20	火	V	自習		